

# 事務事業実績測定調書

10101040003	公共下水道計画事務(雨水)		
測定年度	2019(R1)年度	18500010	上下水道事業部上下水道計画課
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	1:1.災害に対する備えができているまち	
	取り組みの方向	4.公共下水道の雨水排水施設の適切な管理や計画的な整備を進めるなど、浸水被害の軽減を図ります。	
	実行計画事業名	浸水対策推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1958(S33)年度		~		
根拠法令等	下水道法、都市計画法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	浸水被害の軽減。				
事業概要	下水道法・都市計画法に基づく事業認可を取得又は変更するなど、公共下水道計画事務(雨水)により、円滑な下水道整備を行うことで浸水被害の軽減に努める。 また、公共下水道計画事務(雨水)に伴い、必要となる資料作成や関係機関との協議、調整、手続き等を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	雨水管渠等を整備した施工延長					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	m
目標(予測)	—	110	1370	350		
実績	1,760					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.45	1.76	1.75
正職員数	1.45	1.76	1.75
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	11,417	13,994	14,030
正職員人件費(換算額)	11,417	13,994	14,030
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	3,333	37,787	33,828
■事務事業の総計(千円)	14,750	51,781	47,858
国庫支出金	0	14,000	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,750	37,781	47,858

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	106.09%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	浸水被害軽減に向けた雨水管渠の整備や、下水道浸水被害軽減総合事業に基づく整備を進めている。昨年度からの繰越工事があったため、目標の実績度がやや高くなっている。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	主に、下水道浸水被害軽減総合計画に基づく浸水対策事業およびストックマネジメント計画に基づく老朽化対策事業に取り組む	

# 事務事業実績測定調書

10101040004	深谷ポンプ場・下水道維持管理負担金交付事業		
測定年度	2019(R1)年度	18500010	上下水道事業部上下水道計画課
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	1:1.災害に対する備えができているまち	
	取り組みの方向	4.公共下水道の雨水排水施設の適切な管理や計画的な整備を進めるなど、浸水被害の軽減を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間			~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	深谷ポンプ場・下水道の効率的な維持管理が円滑に行われている状態。				
事業概要	本市と寝屋川市が共有している深谷ポンプ場・下水道の効率的な維持管理を円滑に行うため、寝屋川市に委託する。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	<p>予算執行状況 (目標数値:当初予算査定額、実績数値:予算執行額)            ※R1年度の当初予算査定額は、寝屋川市からの予算通知が遅れたことにより、枠取り予算的な不確かな数値となっているため、R1年度の目標(予測)は、変更前の指標である「寝屋川市から通知された当初予算額」としている。</p>					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	千円
目標(予測)	21,785	20,088	20,088	20,088		
実績	16,937					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.18	0.16	0.15
正職員数	0.18	0.16	0.15
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,417	1,272	1,203
正職員人件費(換算額)	1,417	1,272	1,203
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	5,205	9,285	16,937
■事務事業の総計(千円)	6,622	10,557	18,140
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,622	10,557	18,140

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	77.75%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	本市と寝屋川市が共有している深谷ポンプ場・下水路の維持管理に必要な負担金の交付事務を適正に行った。 なお、実績度がやや低い主な要因は、深谷調整池改良工事の入札差金による。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も深谷ポンプ場・下水路の良好な維持管理を行うため、寝屋川市と協力していく。	

# 事務事業実績測定調書

10101040008	淀川左岸用水管理施設維持管理負担金交付事業		
測定年度	2019(R1)年度	18500010	上下水道事業部上下水道計画課
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	1:1.災害に対する備えができています	
	取り組みの方向	4.公共下水道の雨水排水施設の適切な管理や計画的な整備を進めるなど、浸水被害の軽減を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間			~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	淀川左岸用水管理施設の維持管理が円滑に行われている状態。				
事業概要	本市、守口市、寝屋川市、門真市で共有している木屋揚水機場、幹線水路、二十箇水路及び附帯施設の維持管理を円滑に行うため、寝屋川市に維持管理業務を委託する。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	予算執行状況 (目標数値:当初予算査定額、実績数値:予算執行額)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	千円
目標(予測)	10,121	10,699	10,699	10,699		
実績	9,270					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.18	0.16	0.15
正職員数	0.18	0.16	0.15
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,417	1,272	1,203
正職員人件費(換算額)	1,417	1,272	1,203
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	9,158	10,580	9,270
■事務事業の総計(千円)	10,575	11,852	10,473
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	10,575	11,852	10,473

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	91.60%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>本市、守口市、寝屋川市、門真市で共有している淀川左岸用水管理施設の維持管理に必要な負担金の交付事務を適正に行った。 なお、実績度がやや高い主な要因は、草刈り工事、スクリーン清掃委託の入札差金による。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も、淀川左岸用水管理施設の良好な維持管理を行うため、寝屋川市と協力していく。	

# 事務事業実績測定調書

10526020006	水道計画事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	18500010	上下水道事業部上下水道計画課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	88.市民の生活や産業活動を支えるため、安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給します。	
	実行計画事業名	水道管路更新・耐震化事業	
総合計画体系②	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち	
	取り組みの方向	3.地震等の災害発生時に、被害を軽減できるよう、建築物の耐震化や、道路、橋梁、上下水道などの都市基盤の計画的な維持管理を図るなど、災害に強いまちづくりを進めます。	
	実行計画事業名	水道施設更新・耐震化事業	

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2016 (H28) 年度		～		
根拠法令等	水道法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全で良質な水が将来にわたって安定的に供給されている状態。 災害に対する備えができている状態。				
事業概要	増大する老朽化施設の更新及び発生が予想される大地震等への対応のために策定した「枚方市水道施設整備基本計画」(平成30年度)の進捗管理及び見直しの検討。 進捗管理及び見直しの検討のための関係課との協議・調整。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	水道管路の更新・耐震化事業の着手率 【算出式:】 着手事業項目数/計画事業項目数×100					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	95.45					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.70	2.00	1.60
正職員数	1.70	2.00	1.60
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	13,386	15,902	12,827
正職員人件費(換算額)	13,386	15,902	12,827
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	47,412	42,444
■事務事業の総計(千円)	13,386	63,314	55,271
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	13,386	63,314	55,271

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	95.45%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>平成30年度に策定の「枚方市水道施設整備基本計画」に基づく水道施設・管路の更新・耐震化について、関係課会議の開催で10年の短期整備計画で計画された事業の進捗管理を行った。令和元年度の水道管路の計画事業項目は22事業で着工事業項目は21事業で結果となった。未着工の1事業については次年度以降の他事業との調整等により延期とした。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引続き「枚方市水道施設整備基本計画」に基づく事業実施の進捗管理を行い、計画の見直しを検討していく。	

# 事務事業実績測定調査

10526030012	公共下水道計画事務(汚水)		
測定年度	2019(R1)年度	18500010	上下水道事業部上下水道計画課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	89.河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。	
	実行計画事業名	公共下水道(汚水)整備事業	
総合計画体系②	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	1.災害に対する備えができていくまち	
	取り組みの方向	3.地震等の災害発生時に、被害を軽減できるよう、建築物の耐震化や、道路、橋梁、上下水道などの都市基盤の計画的な維持管理を図るなど、災害に強いまちづくりを進めます。	
	実行計画事業名	下水道施設維持管理事業	

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1958(S33)年度		～		
根拠法令等	下水道法、都市計画法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共下水道の整備が促進され、生活排水等が適正に処理されている状態。				
事業概要	下水道法・都市計画法に基づく事業認可等の取得又は変更するなど、公共下水道計画事務(汚水)により、円滑な下水道整備を行うことで公共水域の水質の保全に資する。 また、公共下水道計画事務(汚水)に伴い、必要となる資料作成や関係機関との協議、調整、手続き等を行う。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	公共下水道整備普及率 【算出式: 下水道整備人口 / 行政人口】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	97.5	97.5	97.6		
実績	97.3					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.45	1.76	1.75
正職員数	1.45	1.76	1.75
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	11,417	13,994	14,030
正職員人件費(換算額)	11,417	13,994	14,030
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	4,298	45,262	47,625
■事務事業の総計(千円)	15,715	59,256	61,655
国庫支出金	0	14,000	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	15,715	45,256	61,655

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.21%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	生活環境の改善や河川の水質保全のための公共下水道整備の完了に向けて、下水道(汚水)整備を推進し、令和元年度末で整備人口普及率が97.3%となった。目標の実績度については、人口減少の影響もあり、人口普及率が増加したため、実績度100.21%となった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	上下水道ビジョン及び令和2年度策定予定の下水道整備基本計画に基づき整備を進める。	

# 事務事業実績測定調書

10526030014	流域下水道負担金交付事業		
測定年度	2019(R1)年度	18500010	上下水道事業部上下水道計画課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	89.河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間			~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生活排水等が適正に処理されている状態。				
事業概要	流域下水道事業者である大阪府に対して、構成市として流域下水道にかかる建設費・維持管理費を負担し、円滑な事業運営に資する。				

## 2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	予算執行状況 (目標数値:当初予算査定額、実績数値:予算執行額)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	千円
目標(予測)	2,130,269	2,119,199	2,119,199	2,119,199		
実績	2,035,147					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.28	0.26	0.19
正職員数	0.28	0.26	0.19
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,205	2,067	1,523
正職員人件費(換算額)	2,205	2,067	1,523
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,958,193	1,771,693	2,035,181
■事務事業の総計(千円)	1,960,398	1,773,760	2,036,704
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	69,300	129,300	188,200
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	56,259
一般財源	1,891,098	1,644,460	1,792,245

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	95.54%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	大阪府流域下水道施設に必要な建設費・維持管理費の負担金交付事務を適正に行った。 なお、実績度がやや高い主な要因は、淀川左岸流域下水道維持管理負担金が当初より減少したことによる。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	今後も、流域下水道の良好な維持管理を行うため、大阪府と協力していく。	

# 事務事業実績測定調査

10999990073	上下水道計画課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	18500010	上下水道事業部上下水道計画課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間			~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	部所管の事務が適正かつ効率的に執行されている状態。				
事業概要	<p>部の施策の企画調整。                      部内事務の進行管理及び事務改善の実施等庶務全般に関すること。                      上下水道局の危機管理に関すること。                      上下水道施設情報管理システムの運用に関すること。                      上下水道局の工事の検査及び審査に関すること。</p>				

## 2. 指標推移

指標種類	指標設定なし				
指標の説明	—				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	—	—	—	
実績					

### 3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	8.57	7.58	5.93
正職員数	8.57	7.45	5.31
非正規職員数(計)	0.00	0.13	0.62
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.13	0.62
■人件費総額(千円)	67,480	59,490	43,800
正職員人件費(換算額)	67,480	59,235	42,570
非正規職員人件費(計)	0	255	1,230
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	255	1,230
■直接経費(千円)	6,511	14,702	25,822
■事務事業の総計(千円)	73,991	74,192	69,622
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	73,991	74,192	69,622

### 4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>部内の連絡調整や事務の進行管理、公用車の維持管理などを適正に行った。                      大阪北部地震や台風等の教訓を踏まえ、上下水道局危機管理マニュアルを改訂した。                      水にごりの際の応急給水や、台風等到来時の土のう設置要請等に対応した。                      上下水道施設情報管理システムの再構築を完了した。                      上下水道局の工事の検査及び審査を適切に実施した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、円滑な事務執行に努めていく。	